



みんなで「老松」を謡ってみよう!

～齢を授くるこの君の、行末守れと我が神託の、
告げを知らする、松風も梅も、久しき春こそ、めでたけれ。～

よ わ い を さ づ く る 一 こ の き 一 み の 一
 ゆ く す え ま も れ / と わ が し ん た く の 一
 つ げ エ を 一 し ら す る 一 ま 一 つ か / ぜ も ん め 一 オ
 ひ さ し き 一 は る こ そ 一 め で / た 一 け れ 一

君が長生きできますように
 末永くあなたをお守りしていますよ と神のお告げを
 松に吹きかかる風や梅の花の香りが知らせてくれます。
 いつまでも嬉しい春が続きますように。



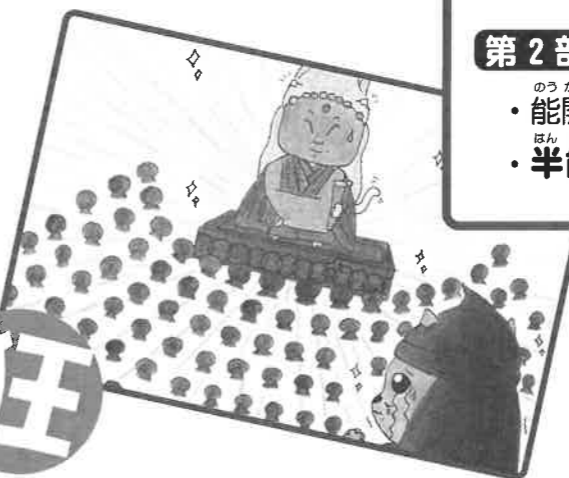
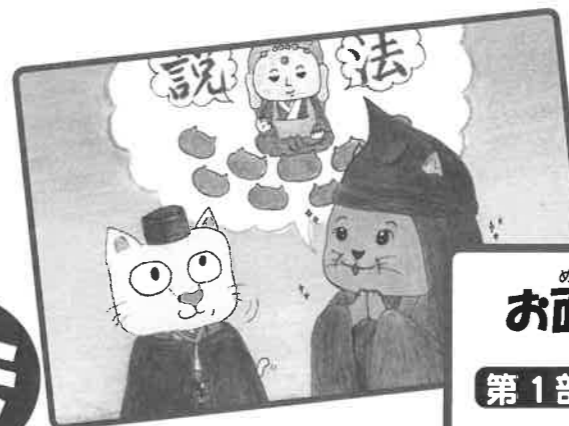
「能奉行舞台改め」
とは?

昔は能の催しの前にお舞台を清める儀式がありました。能奉行の掛け声「お能始めませい!」を合図におめでたいお謡を謡うことで、能公演が無事に終わることを祈ります。今でも姫路新能や明石新能などで行われています。

老松
 君の行末守れと我が神託の、
 告げを知らする、松風も梅も、
 久しき春こそ、めでたけれ。



たのしくまなぼう! 能狂言



お面で変身!? ～能楽鑑賞

第1部 能と狂言ってなに?

- ・はじめのご挨拶
- ・能と狂言ってなに?
- ・狂言「仙師」のお話と鑑賞

～休憩(10分程度)～

第2部 半能「大会」鑑賞

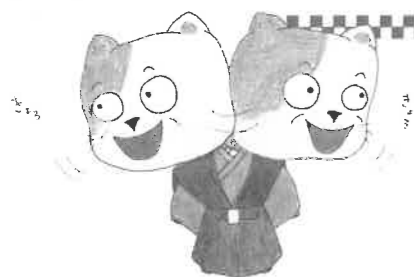
- ・能開演の儀～「老松」の謡に挑戦!～
- ・半能「大会」のお話と鑑賞

公演団体名 夙川能舞台瓦照苑

「文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



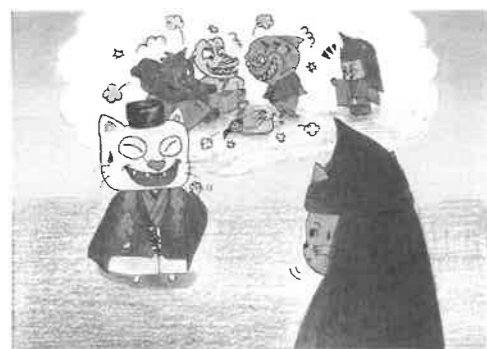
狂言「仏師」 あらすじ

自宅に御堂を建てた男は、都に出かけて、大声で「仏を買いたい」と言って回ります。すると自分は仏師だというすっぱ（嘘つき）が近寄ってきました。

男は大喜びし、早速仏像を注文します。

次の日、完成した仏像を見に行った男。

素晴らしい出来栄えのその仏像、実はすっぱが変装したもので…。



トンビに化けていた時に、比叡山に住むお坊様に助けてもらった天狗

は、恩返しがしたいと山伏の姿になって、修行中のお坊様の元を訪ねます。

「何か望みがあれば教えてください」。山伏姿の天狗が伝えると、お坊様

は「お釈迦様の説法が見たい」と言いました。天狗は「絶対にありがたが

て手を合わせたりしないように」と約束させて姿を消します（省略部分）。

天狗がお釈迦様に化けて説法

を始めると、お坊様はあまりのありがたさに手を

合わせて拝んでしまいます。すると、「正直なお坊

様をもてあそぶとは何事か」と怒った仏教守護の

神様「帝釈天」が駆けつけて、天狗をこらしめます。



怒られるのが嫌な天狗はしばらく争いますが、最後は平身低頭謝り、自分の住まいへ逃げ帰っていくのでした。

能「大会」 あらすじ



能楽って？

能は、室町時代から現在まで約

650年もの間、一度も途絶えること

なく続いている演劇で、ユネスコの

無形遺産に宣言されるなど、世界で

も注目されている舞台芸術です。

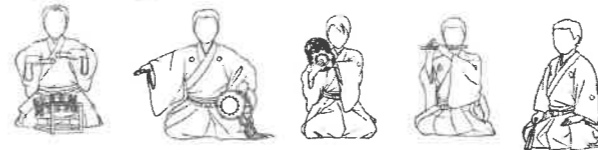
見るのはもちろん、一生楽しむこ

とのできるお稽古事・趣味としても、

昔から、たくさんの人に親しまれて

きました。

五人囃子って知ってる？



桃の節句で飾るお雛さま、じっく

り見たことがありますか？楽器を

も持ってる人たちが並んでいますね。

実はそれが、能の囃子と謡なんです。

向かって左から太鼓、大鼓、小鼓、笛、

謡。おうちにある人は、今度、飾る

時に観察してみてください。

登場人物について

能の舞台には、シテ（主人公）・ワ

キ（主人公の相手役）・アイ（場面の

つなぎ役）など、狂言の舞台にはシ

テ（主人公）・アド（主人公の相手役）

など、それぞれの役割を持った人が

登場します。

今回の能「大会」のシテは天狗で

すが、前場では山伏（今回の上演で

は省略します）、後場ではお釈迦様の

姿で登場し、最後、正体を現し天狗

となります（同じ人が演じます）。

ワキは天狗を助けたお坊様。アイ

は今回登場しませんが、前場と後場

の間に登場して、事の次第を、みん

なに教えてくれます。

ほかにも地謡（謡を謡う人）、囃子

（楽器を演奏する人）、後見（舞台の

進行を見守り助ける人）が舞台の上

に座っています。

しっかり物語に集中しながら、シ

テ以外が何をしているのも、時々見

てみてくださいね。

夙川能舞台瓦照苑について



瓦照苑代表 上田 拓司
（観世流シテ方楽師）

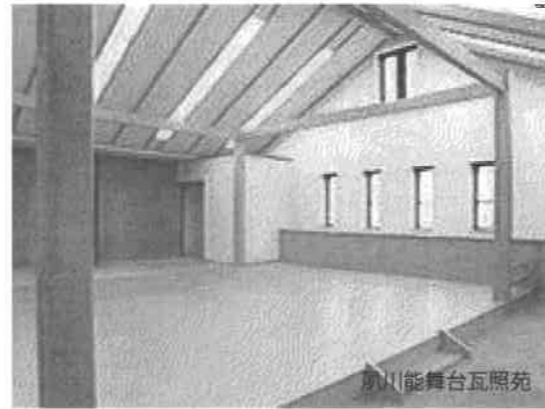
平成16年、兵庫県西宮市に「夙川能舞台瓦照苑」を開設。能楽の社会的意義を考え、

「次の時代のために」「今を生きる人へ」をテーマに、能の公演や教室などを数多く

開催しています。

主催公演「照の会」では、文化庁芸術祭賞受賞者を数多く輩出。令和2年度には、

団体としても受賞しています。



夙川能舞台瓦照苑

知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会と

いう会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々

が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくため

に「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。